親子で自然体験をしながら理科的視点を身につける

ネイパル砂川

親と子の理科教室（夏季）

1　事業のねらい

道内の小学生とその保護者を対象に、親と子のふれあいの中で、身近な素材を生かした実験や観察に親しみながら、理科に対する興味・関心を一層高める。

2　事業の概要

■期日　R6.7.6(土)　日帰り
■対象　小学４・５・６年生及びその家族
■人数　20 家族 41 名
■場所　三笠市立博物館、ネイパル砂川
■共催　北海道立教育研究所･公益財団法人北海道科学文化協会

3　プログラム

	10:10		11:00	13:00	14:10	15:30
7/6（土）	集合	体験活動１「三笠市立博物館見学」	移動 昼食 参加者交流	体験活動２ 「化石レプリカをつくろう」 「化石ミニ発掘」	体験活動３ 「これであなたも生物博士」	おわりの式 解散

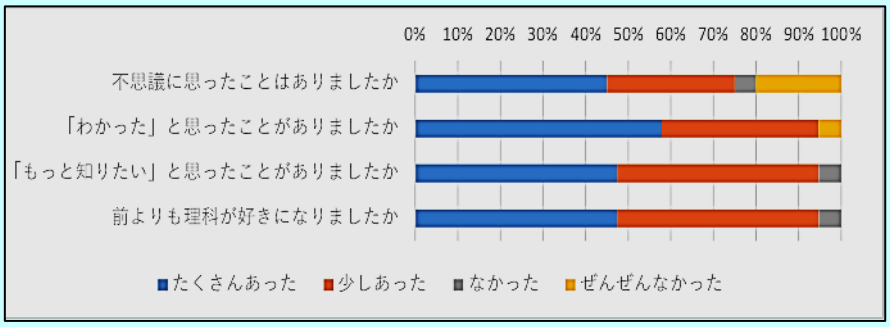
4　ねらいを達成するための活動の工夫

■道立教育研究所と連携したプログラム
・生物及び地学を専門とした指導主事との協働により、ネイパル砂川周辺の自然環境を教材としたプログラムを開発し、実施した。
■親子でのふれあいを促進するプログラム
・活動全体を通して親子や他の家族とも活動中に交流できるよう基本的に家族単位での行動とした。また、昼食後には、家族間の交流の場面をつくるため、参加者交流としてアイスブレイクを行った。

周辺の自然を活用した活動

集めてきた葉の分類作業

5　事業の評価（事後アンケート）



■感想（子ども）
「すごく面白かった。理科の実験が楽しかった。」(子ども)「親がなかなか経験させてあげられないことを教えてくれてとても良かったです。適度に自由なのもＧｏｏｄでした（笑)」(保護者)

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●ネイパルを会場とした部分は午後の参加者交流からプログラムとなり、観察する葉の収集活動やその葉をラミネートし、しおりをつくる活動を行った。その中での学習要素として、道立教育研究所の指導主事が行った説明が非常にわかりやすく大人も子どももうなずきながらの時間となるなど、全体的に連携の効果を感じられるものとなった。

企画のポイント

ネイパルの自然の中で理科的な視点を育成するとともに、親子のふれあう時間を創出